

札幌エリアのポロクルは、NPO法人 ezorock と協業し、再配置業務を実施しています。

NPO 法人 ezorock は、地域課題や街づくりなど社会貢献に関心の高い学生を中心とした10代から20代の青年層を中心に200名ほど参加する団体で、ポロクルの再配置業務に約50名のクルーと呼ばれるスタッフが携わっています。ポロクルは自転車台数約550台、ポート数約60か所と国内のシェアサイクルサービスの中では規模が大きい事業でありながら、再配置業務はすべて彼らが担っています。

業務の流れは、クルーリーダーが司令塔となり、最適な再配置場所の指示を出します。指示に従ってその他のクルーがバンに乗車し現地に向かい、自転車の配置作業を行います。簡単なメンテナンス作業は巡回中に実施し、自転車品質の保全に努めています。

また、再配置業務にとどまらず、行政とも連携し自転車の安全利用の啓発活動も行っています。

SNSをはじめとして、アプリやHPから利用のルール・マナー啓発に関するコンテンツを配信するほか、交通啓発活動のイベントに積極的に参加し、地元住民とコミュニケーションをはかりながら安全利用を促進しています。

